

令和4年10月

令和4年度 4月学力学習状況調査の結果について

津幡町立笠野小学校
校長 辰巳 勝

1 学力状況調査について

今年度の県基礎学力調査及び全国学力・学習状況調査は4月に実施されました。これらの調査は、児童の学習の定着状況を把握し、今後の学習指導の改善に役立てようとするものです。

県基礎学力調査は、第4学年の「国語科・算数科」、第6学年の「社会科」で実施し、全国学力・学習状況調査は、第6学年の「国語科・算数科・理科」で実施しました。また、津幡町として第5学年の「国語科・算数科」の学力調査も、同時期に行っています。

なお、調査により測定できるのは学力の一部ですが、調査の意義を踏まえ、笠野小学校の児童の学力や生活力の向上に向けた改善に役立てていくよう努力していきます。

2 結果について

学年	国語	算数	社会	理科
4年	県平均より →	県平均より ▲		
5年	全国平均より ◎	全国平均より ◎		
6年	県平均より ◎ 国平均より ◎ (10%以上上回る)	県平均より ◎ (10%以上上回る) 国平均より ◎ (10%以上上回る)	県平均より ◎	県平均より ○ 国平均より ◎

◎5%以上上回る ○1~5%上回る →平均と同程度 △1~5%下回る ▲5%以上下回る

3 成果 (○) と課題 (★) と今後の取組 (◇)

国語

○指示語や修飾語など語句の力が定着している。

○図鑑や事典の使い方が定着している。

★内容を的確に表現する力が弱い。

★主語と述語の関係を理解する力が弱い。

◇1時限の終わりのまとめやふり返りを書く活動で、キーワードや書くべき内容を取り入れて書くようにする。また、自分が書いた文章を読み返して、主語と述語の関係が整っているか考えるように促す。

算数

○小数や分数の基礎的な知識は定着している。

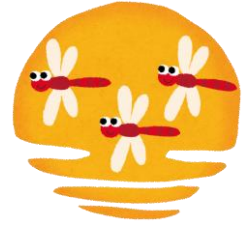
○問題解決の過程を表現することができる。

★基本的な計算力・知識が十分に身につけているとは言えない。

◇わり算をはじめ、基本的な問題を繰り返し学習する場を設定する。また、算数用語を使って、聞かれていることに正しく考えを書いたり説明したりする学習を意識して取り入れる。

社会

- 地図帳を活用して海洋の名前や大陸、交通などをつかむ力が定着している。
- ごみの行方について、資料を見ながら適切に判断することができる。
- ★我が国の川の特徴と世界の川の特徴が書けない。
- ◇資料を読みとって、相違点を挙げて比較検討する活動を取り入れる。



理科

- グラフを読みとる力が身に付いている。
- メスシリンダーの名前やめもりの読みとり方が身に付いている。
- ★体積と重さの関係や電流の大きさとモーターが速く回る関係など、実験結果から考察する力が弱い。
- ★他者が予想したことを確かめる問題を作れない。
- ◇実験結果を踏まえて、そこからわかったことを時間を十分にとって考えたり、自分たちで問題を作ってみる機会を取り入れたりする。

質問紙から

○…「はい」と答える児童の割合が高い ★…「はい」と答える児童の割合が低い

- 毎日同じくらいの時刻に起きている。
- 読書は好きだ。
- 人が困っているときは、進んで助けている。
- ★自分から進んで発表したり、発表した友達に質問やアドバイスをしたりしている。
- ◇自信をもって発表できるように、話す内容を考える時間をとる。

ご家庭と学校で協力して取り組んでいくこと

<主体的に学ぼうとする姿勢の育成>

家庭学習は、おおむね定着している傾向にあります。継続して取り組むことで基礎学力がついてきます。ご家庭でも子供たちの主体的な学びを後押ししてあげてください。また、読書は好きだと感じているようなので、引き続き「週末読書」、「親子読書」の取組にご協力いただきたいと思います。

<読む力の育成>

新聞を読んで内容をまとめる学習を中学年と高学年で取り組みます。ご家庭でも、世の中のニュースを話題にしたり、新聞を手にとる機会が増えたりするよう声かけ等よろしく願いいたします。

<書く力の育成>

1時間の授業の中で、考えをもつ場面、まとめやふり返りの場面等で、書く活動を取り入れています。ご家庭でもぜひお子さんと一緒にノートを見て、頑張りを褒め、励ましてあげてください。日記や作文を書いたときは、見たり聞いたりしてあげてください。書く力・説明する力の育成だけでなく、心と心の絆を育むよい機会となります。

